

2019年

今日は1時間目、3年生が体育館で学年集会をしていました。2学期は学年で動くことも多いので、クラスの壁をとばらい、学年みんな仲良く力を合わせてGO!という気持ちを高めていました。また先生たちの目標の発表もあってましたよ。明るく楽しい2学期になりそうですね。



大江の風



8月27日
137

この写真を見せてすぐエジソンと分かった人がいました。伝記も読んでいるんだね。感心しました。

2学期の合言葉は「チャレンジ」

始業式の校長講話。「君たちはもっとのびる もっとできる もっと成長できる そのために2学期は・・・」というお話でした。まずクイズ「反対の言葉は何？」を3題出しました。「明るい反対は暗い。原因の反対は結果。成功の反対は失敗。」とみんな順調に答えていきました。そして「国語辞典では成功の反対は失敗なのだけど、人の生き方では成功の反対は失敗ではありません。」ということ、みんな「え〜!!」っと不思議な顔をしていました。そしてエジソンの話をしました。「エジソンは電球を発明するまで、なんと1万回失敗したそうです。エジソンは「失敗しちゃった。悲しいなあ。」となげいたでしょう。なんと、エジソンは、失敗してくよくよするのではなく、『それは、失敗ではない。うまくいかない方法を1万通り発見しただけだよ。』と前向きに考えました。だから人の生き方では、成功の反対は、何もしないこと、チャレンジしないことなのです。」と話しました。長い長い2学期、一人一人が目標をしっかり立ててチャレンジし続けてほしいです。粘り強くがんばってほしいです。私たち職員もチャレンジします。そして子どもたちを全員で全力で応援します。



エジソン
電球を発明するまで 1万回失敗した
でも、エジソンは、そのことを失敗とは言わなかった

2学期の合言葉

チャレンジ

令和元年児童会のテーマ
「ABCあふれる学校にしよう」



きみたちは
もっと のびる
もっと できる
もっと 成長できる はず



それには、
失敗をおそれず、**チャレンジ**しよう。その失敗から何かを得られたら、それは失敗ではない。

PDCA・・・2学期のアクションは 【後編】

その③ 子ども一人一人を大切に「教育相談旬間(月間?)」の設立

1学期「特定の子どもとの面接・相談だけではだめだな〜。一人一人と、たとえ短い時間でも面談をして、相談のきっかけをつくったら・・・」と考えさせられた事例がありました。そこで2学期から学期に1回は、子ども一人一人と向き合う「ミニ教育相談の時間」をつくることにしました。子どもたちがいつでも相談できる環境をつくるのはもちろんですが、相談の時間もきちんと確保して子どもたちにしっかり寄り添っていきたいと思います。またカウンセリング室も必要です。今、家庭科準備室の半分をカウンセリング室にしようかと企んでいます。

その④ より安心・安全な学校に・・・

何よりも優先しなければならぬことは、「子どもの安全」です。ですので、始まる前の遊具の相互点検、室内外の安全点検は念入りに行いました。また、防災頭巾を使用した避難訓練もすぐ実行します。不審者侵入の訓練も行います。子どもたちの「危険予測回避能力」を高め、自分の命は自分で守る教育を推進していきます。

何よりも優先しなければならぬことは、「子どもの安全」です。



おまけ 始業式で転入生紹介。10人の新しいお友達。ぶっつけ本番で一人ずつ自己紹介。とてもりっぱでした。



始業式で2年生と5年生が2学期の抱負を発表しました。とても堂々とした態度でまた内容もよく、感心しました。とてもよい2学期のスタートができましたね。